

貸借対照表

(2021年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	1,851,482	流動負債	371,419
現金及び預金	36,092	買掛金	115,670
受取手形	9,331	未払金	17,659
売掛金	477,383	未払費用	50,826
商品	34,523	未払法人税等	4,210
仕掛品	1,036	未払消費税等	34,126
貯蔵品	2,031	預り金	8,275
前払費用	237	賞与引当金	140,650
未収入金	3,038		
預け金	1,285,778		
その他	4,885		
貸倒引当金	△ 2,857		
固定資産	251,470	固定負債	243,643
有形固定資産	97,180	退職給付引当金	243,643
建物	33,648		
構築物	1,727		
機械及び装置	190		
工具、器具及び備品	19,757	負債合計	615,063
土地	40,800	(純資産の部)	
建設仮勘定	1,055	株主資本	1,487,889
		資本金	20,000
無形固定資産	1,001	利益剰余金	1,467,889
電話加入権	683	利益準備金	5,000
商標権	317	その他利益剰余金	1,462,889
投資その他の資産	153,288	事業補償積立金	200,000
投資有価証券	1,900	繰越利益剰余金	1,262,889
出資金	20		
繰延税金資産	149,458	純資産合計	1,487,889
その他	1,910	負債及び純資産合計	2,102,952
資産合計	2,102,952		

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示している。

注記事項

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券
時価のないもの ----- 移動平均法による原価法

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品・貯蔵品 ----- 最終仕入原価法
仕掛品 ----- 個別法による原価法

なお、貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定する。

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 ----- 定率法

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金 ----- 金銭債権の貸倒れに備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

(2) 賞与引当金 ----- 従業員の賞与の支給に充てるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上している。

(3) 退職給付引当金 ----- 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上している。

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の処理方法 ----- 税抜方式によっている。

II. 当期純損益

当期純利益 80,340千円